器具のはずしかた

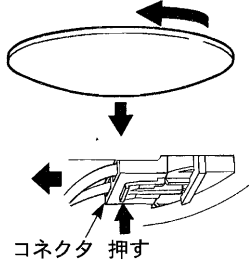
必ず電源を切って本体やランプが冷えてから行ってください。

■カバーの外しかた

カバーを左に回してください。

カバーは無理にはずさないでください。カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。

■電源の外しかた

右図のようにコネクタの矢印部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。

■本体の外しかた

本体中央部のレバーを矢印方向へ引いてください。

■アダプタの外しかた

アダプタの赤いボタンを押しながら矢印方向に回してください。

注意

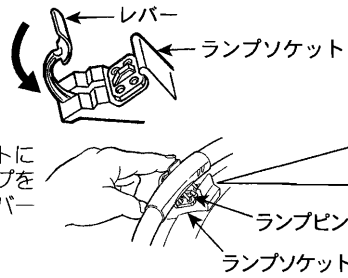
※ボタンを押さずに回すと引掛シーリングが破損します。

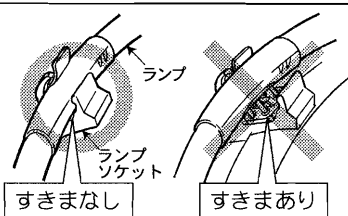
ランプの取付、取外し

ランプの取付

①ランプソケットのレバーを開いてください。

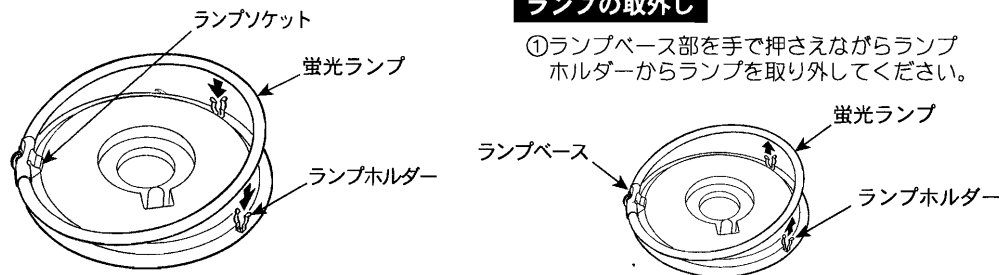
②ランプピンをランプソケットに差し込んでください。ランプをソケットに差し込むと、レバーが閉じます。

③図のようにランプホルダーにランプを押して取り付けてください。

重要

ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認してください。

⚠警告 **落下のおそれあり**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

ランプの取外し

①ランプベース部を手で押さえながらランプホルダーからランプを取り外してください。

②ランプをささえながら図のようにレバーを手で矢印方向におこしてランプソケットからランプを取り外してください。

蛍光ランプの取替え

■このような状態になりましたら、器具のワット数に応じたランプに取り替えてください。(寿命です)

●ランプの端部が黒ずんだとき。

●点滅を繰り返すとき。

●明るさが低下したとき。

必ず電源を切り、ランプが冷えてから取り替えてください。

■ランプはランプソケット及びランプホルダーに確実に取り付けてください。

■ランプ交換の際は、ランプホルダーでランプを強く弾かないでください。ランプ破損のの原因となります。

お手入れのしかた

お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。

・明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃、点検してください。

・ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。

・器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。

・カバー等、樹脂部分の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。

故障?と思われたら

ご使用中に異常が生じたときは右表を参考にお調べください。

右表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お近くのNEC製品取扱店にご相談ください。

なお連絡されるときは器具の形式名及びお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。

形式名は器具本体部の器具ラベルに表示しています。

故障の状態	主な原因
蛍光ランプが点灯しない	蛍光ランプがランプソケットに正常に取り付いていない。
	蛍光ランプの寿命
保安球が点灯しない	保安球の寿命
	保安球のゆるみ
いずれも点灯しない	照明器具の壁スイッチがオフになっている。

故障の状態	主な原因
照明器具を操作できない	照明器具の壁スイッチがオフになっている。
	リモコンの電池が残り少なくなっている。
	リモコンの電池の極性 ⊕⊖ が間違っている。
	照明器具のランプが切れている。
	チャンネルスイッチが合っていない。

364−697 7LKZ(デジレン) セツメイショ (RL54)

NEC 照明器具

保証書添付 保存用

取扱説明書

●このたびはNEC照明器具をお買い上げくださいましてありがとうございます。

●取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。

●取付工事が終わりましたら、この取扱説明書は、ご使用になるお客様が保管してください。

【注意図記号とシグナル用語の意味について】

⚠警告: 誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるものです。

⚠注意: 誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくものです。

⚠:この記号は、注意(警告)をうながす内容があることを知らせるものです。

⊘:この記号は、禁止の行為であることを知らせるものです。

❗:この記号は、行為をお守りいただく内容を知らせるものです。

器具取付時の安全上の注意

●ご使用の前に、この「器具取付時の安全上の注意」を、よくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警告

❗器具の取り付けは、取扱説明書により確実に取り付けてください。取り付けに不備があると、器具の落下・感電・火災の原因となります。

⊘風呂場など、水や湿気の多い場所で使用しないでください。漏電し、火災・感電の原因となります。

❗器具の取り付けは、重量に耐える所に取扱説明書にしたがい確実に行ってください。取付に不備があると落下し、感電・けがの原因となります。

❗電源線接続の際は、器具の取付方法によって確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。

⚠注意

⊘器具取り付けの電源工事は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。

⊘この器具は非防水です。湿気、水気のあるところで使用しないでください。湿気、水気のあるところで使用すると、感電・火災の原因となることがあります。

⊘この器具は屋内用です。5℃〜35℃の範囲内で使用してください。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると、漏電し、感電・火災の原因となることがあります。

⊘表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。

使用時の安全上の注意

●ご使用の前に、この「使用時の安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

⚠警告

⚠布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。

⊘部品の追加改造は絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。

⊘器具の隙間や放熱穴に、金属類やもえやすいものなどを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。

❗ランプ交換等によりカバー、本体を外し、再度取付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けてください。不完全に取付けると、落下してけが・物損の原因となることがあります。

❗ランプ交換やお手入れの際には、必ず電源を切ってください。電源を切らないと、感電の原因となることがあります。

❗ランプ交換の際には、本体表示及び取扱説明書にしたがって、指定された(適合する)ランプを使用してください。指定以外(適合しない)ランプを使用すると、火災の原因となります。

❗万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切ってください。異常状態がおさまったことを確認して電気店に修理を依頼してください。

⚠注意

⚠**壁付調光器のある回路では使用できません。照明器具が故障します。**

⊘お手入れの際は、水洗いはしないでください。火災・感電の原因となります。

❗ランプ交換やお手入れの際は電源を切って、しばらくしてから行ってください。点灯中・消灯直後はランプが熱いので手や肌などを、ふれないでください。ランプ及びランプ周辺を触ると、やけどの原因となることがあります。

❗明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店、電気店に修理を依頼してください。

❗万一、カバーなどが破損した場合、ケガの原因となることがありますので、破損部分に直接手や肌などをふれないでください。

NECライティング株式会社

東京都品川区大崎1-2-2

〒141-0032 http://www.nelt.co.jp/

<お客様相談室>

フリーダイヤル 0120-52-3205

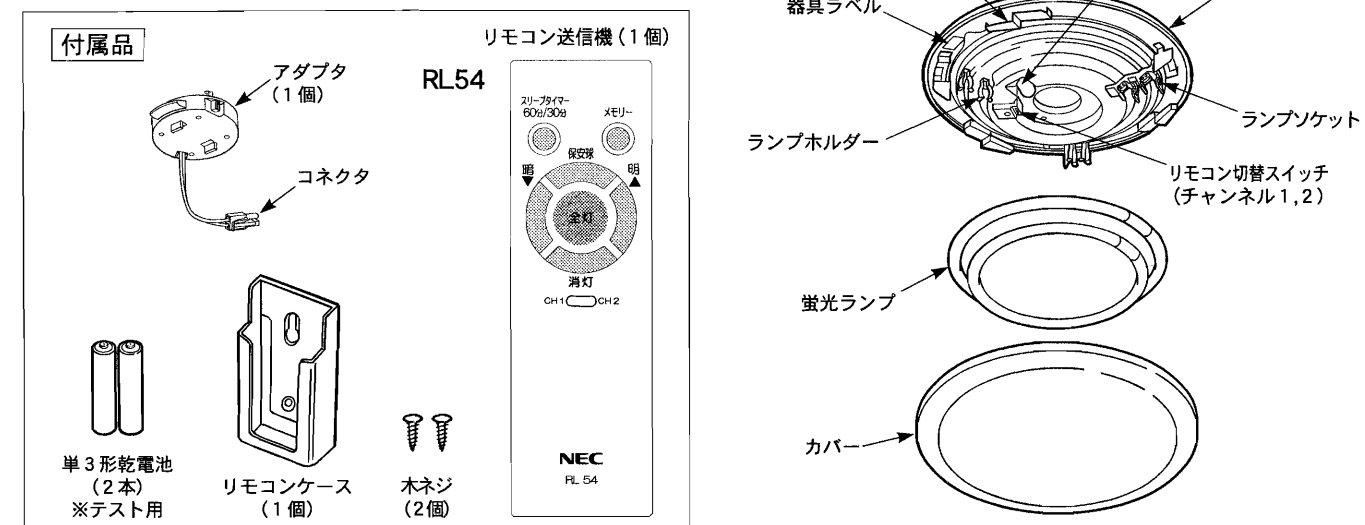
受付時間 平日9:00〜12:00 13:00〜18:00

(土、日、祭日は受け付けておりません)

FAX. 03-5719-8131

※この紙は再生紙を使用しています

各部の名称

この図は一部省略抽象化した共通部品図です。
機種によってカバー形状が異なる機種もあります。

〈機能紹介〉

リモコン機能（6ページ）
リモコン送信機で蛍光灯の点灯や消灯等の操作ができます。

多段調光機能（6ページ）
リモコン送信機の暗・明ボタンを短く押すとデジタル調光（4段階）できます。（100% ⇄ 70% ⇄ 50% ⇄ 10%）

連続調光機能（6ページ）
リモコン送信機の暗・明ボタンを押し続けると連続調光できます。（100% ⇄ 10%）

メモリー調光機能（6ページ）
リモコン送信機でメモリーされている明るさにワンボタンで切り替えることができます。

スリープタイマー機能（7ページ）
リモコン送信機のワンボタン操作で60分後又は30分後に蛍光灯を自動で消灯させることができます。

壁スイッチコントロール機能（2ページ）
壁スイッチの動作で明るさを切り替えることができます。

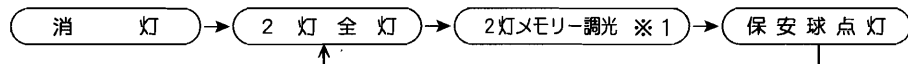
フェードオフ機能
蛍光灯点灯時消灯ボタンを押すと、ゆっくりと消灯し高級感を演出します。

点灯順序

リモコン送信機での操作方法は、6ページをご覧ください。

壁スイッチで操作される場合

壁スイッチですばやく（約2秒以内）OFF→ONすることにより（2灯全灯→2灯メモリー調光→保安球点灯）ができます。

消　灯 → 2 灯 全 灯 → 2灯メモリー調光 ※1 → 保 安 球 点 灯（→ 2灯全灯へ戻る）

※1）2灯メモリー調光：記憶させた明るさにすることができます。
・リモコン送信機の暗・明ボタンで調節したお好みの明るさを自動的に記憶しています。
・リモコン送信機の暗・明ボタンで全灯にした場合は、70%点灯が記憶されています。
・出荷時は70%点灯を記憶しています。
※2）壁スイッチをOFFにするとどの点灯状態でも消灯します。

定　格

この器具は、インバータ式の器具です。周波数（50ヘルツ又は60ヘルツ）に関係なくどの地域でも使用できます。

形　式	使用電圧	周波数	消費電力	使用蛍光ランプ	使用保安球	始動方法
20形 + 27形 （弊社形式：7LKZ***）	AC100V	50Hz / 60Hz	57W	FHC20（高出力点灯28W） FHC27（高出力点灯38W）	E12なつめ球 （5W）	インバータ式

スリム形蛍光ランプの特徴

器具に添付していますスリム形蛍光ランプ(FHC=高周波点灯専用環形蛍光ランプ)は、次のような特徴があります。

◎FHCは、ガラス管径16㎜スリムで、省資源・省スペースおよび、器具の薄型化を可能にした、長寿命な蛍光ランプです。
◎このランプは、発光効率を向上させるために、片側の電極(ランプマークが表示されていない側)に通常より背の高い特殊な電極を採用しています。このためランプマークが表示されている側より、ランプ点灯時の影で若干暗くなっています。
◎ランプ点灯初期に、明るくなるまで少し時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。
約10分程度で明るくなります。

スリープタイマー操作方法

《スリープタイマー機能》

60分後又は30分後に蛍光灯を自動で消灯させることができます。

《設定方法》　　《確認方法》

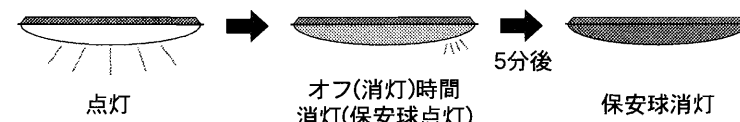
◆60分後に消灯させたい場合
スリープタイマーが設定されていない状態で
スリープタイマー 60分/30分 ボタンを1回押すことにより設定できます。 ➡ 確認音“ピッ”【設定完了】
※蛍光灯が消灯している時は設定できません。

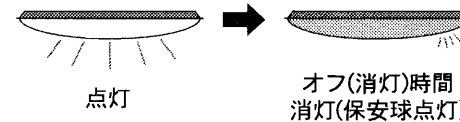
◆30分後に消灯させたい場合
スリープタイマーが設定されていない状態で
スリープタイマー 60分/30分 ボタンを3秒以内に続けて2回押すことにより設定できます。 ➡ 確認音“ピッピッ”【設定完了】
※蛍光灯が消灯している時は設定できません。

◆スリープタイマーを解除したい場合
スリープタイマー 60分/30分

スリープタイマーが設定された状態で、ボタンを1回押せば解除できます。 ➡ 確認音“ピーッ”【設定完了】

スリープタイマー(60分、30分)で蛍光灯を消灯させる時、保安球点灯/不点灯をチャンネルスイッチによって選ぶことができます。

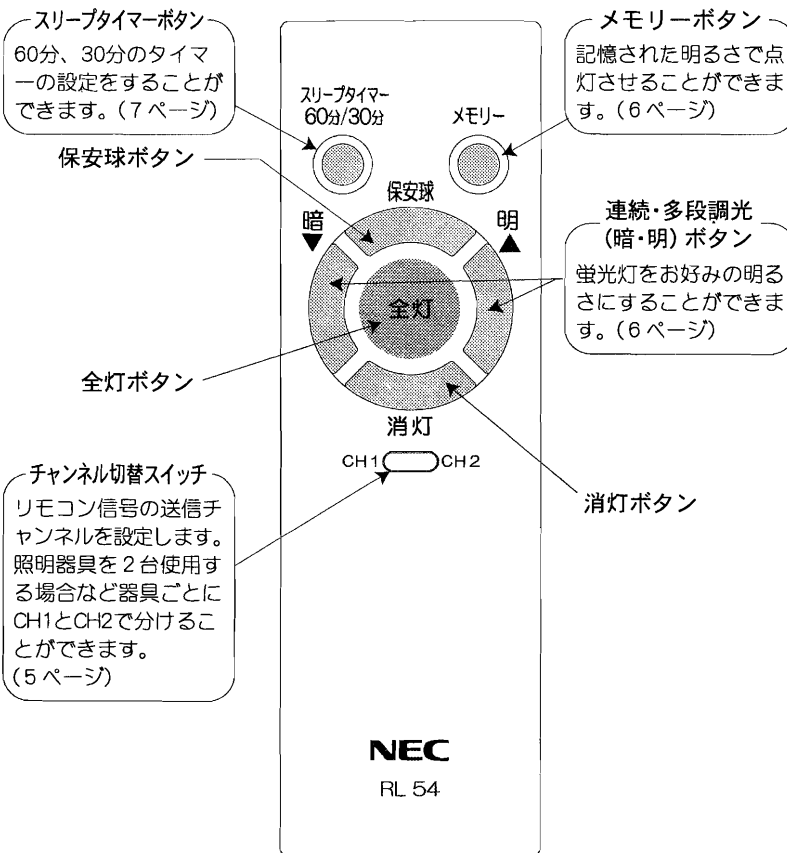
●チャンネルスイッチがCH1の場合

保安球を消灯させたいときにご使用ください。

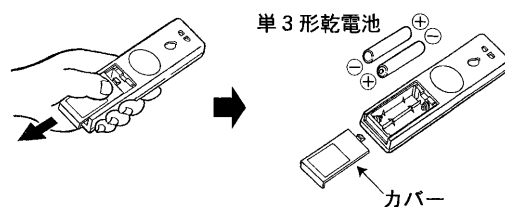
●チャンネルスイッチがCH2の場合

保安球を点灯させておきたいときにご使用ください。

※ 必ず照明器具本体のチャンネルスイッチと合わせてご使用ください。

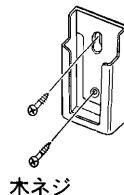
〈注意事項〉

・リモコン以外ではスリープタイマーの設定はできません。
・確認音が鳴らなかった場合は、設定されなかった可能性がありますので、再度設定をしなおしてください。
・設定を変更したい場合はいったんスリープタイマーを解除し、設定しなおしてください。
・スリープタイマーが設定されているかどうか、本体及びリモコンで確認することはできません。
・スリープタイマー設定中に、リモコンや壁スイッチで蛍光灯を消灯させた場合や、停電などで電源が2秒以上OFFになった場合は、スリープタイマーは自動的に解除されます。

リモコンの名称

電池の入れかた

1. リモコン裏面の電池カバーを軽く押しながら手前に引いて外してください。
2. 単3形乾電池2本を、下図のように⊕⊖の向きを合わせてセットする。
3. 電池カバーをスライドさせ、カバーを閉じる。

リモコンケースを壁等に取り付ける場合

付属の木ネジでしっかり壁等に取り付けてください。リモコンケースに入れたままリモコン操作を行うと動作しない場合があります。その場合はリモコンケースからリモコンを取り出し、器具の方へ向けて操作してください。

木ネジ

リモコンの操作方法

蛍光灯を全灯させたい場合

(全灯) ボタンを押すと蛍光灯が全灯点灯します。

保安球を点灯させたい場合

保安球 ボタンを押すと保安球のみが点灯します。

蛍光灯、保安球を消灯させたい場合

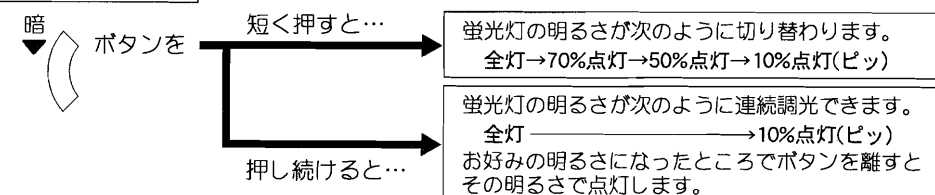
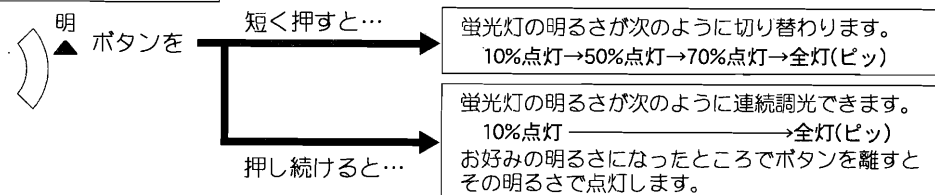
消灯 ボタンを押すと蛍光灯、保安球が消灯します。

メモリー調光で点灯させたい場合

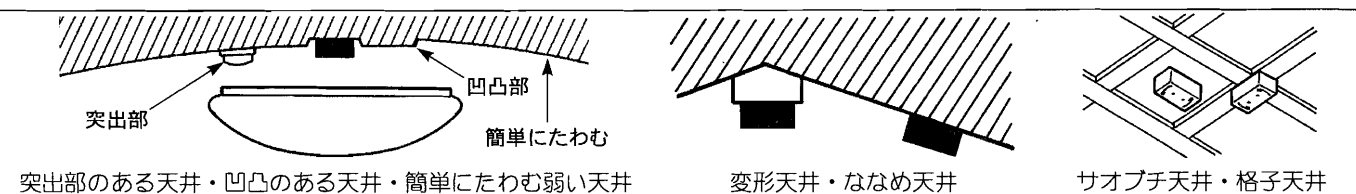
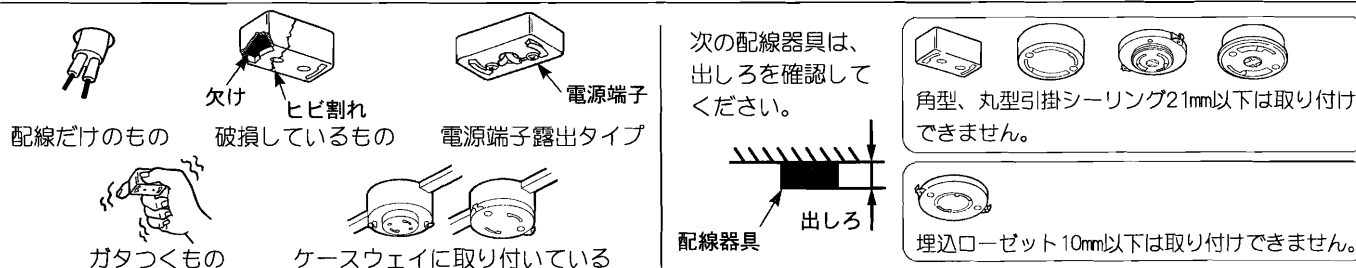
メモリー ボタンを押すと記憶された明るさで点灯します。

暗・明ボタンで調節したお好みの明るさを自動的に記憶しています。

注)・全灯ボタンで点灯させた場合は記憶されません。
・暗・明ボタンで全灯にした場合には、70%点灯が記憶されます。
・出荷時は70%点灯を記憶しています。

蛍光灯の明るさを変えたい場合

注) 蛍光灯が点灯していない状態では反応(動作)しません。

取り付けできない天井

火災・感電・落下によるけがの原因となります。

下図の場合は、電気工事店か販売店にご相談ください。

電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

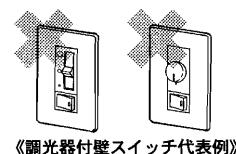
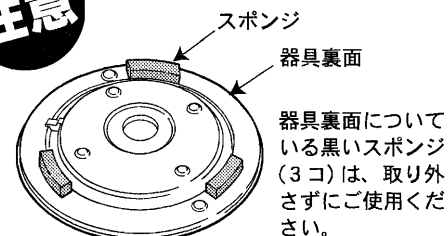
引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。器具が落下する恐れがあります。

取付上のご注意

壁付調光器のある回路では使用しないでください。

⚠ 注意

本器具を取り付ける電源回路(壁スイッチ等)に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。
右図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。
(調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。)

《調光器付壁スイッチ代表例》

使用上のご注意

この器具は、FHC20、FHC27専用器具です。従来のFCL30、FCL32、FCL40は使用できません。

■本体を分解したり、改造しないでください。
火災などの原因になります。

■精密機器のため落下などの衝撃を加えないでください。

■壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。
壁スイッチON及び停電復帰後は、全灯状態になります。

■点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがあります。

■ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。

■本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
また、テレビやビデオのリモコン送信機では、照明器具は作動しません。

■器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。

■本器具をご使用中あるいはリモコン送信機で消灯させた状態で停電した場合、停電から復帰したときは全灯状態となります。
長期間のお出かけの際には、壁スイッチで電源を切ってください。

■この器具はリモコンスイッチで消灯してもリモコン部の回路が約1.0Wの電力を消費しておりますので、節電のために長期外出時には壁スイッチを切ってください。

■リモコン送信機は器具に向けて操作してください。
リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、器具が作動しませんので、しゃへい物を取除いて再度ボタンを押してください。

■照明器具にリモコンの信号が届く範囲でご使用ください。
＊部屋の温度によっては、リモコンが動作しづらいことがあります。

■天井や、壁、床の色や材質によってはリモコンが動作しづらいことがあります。

■スリープタイマー機能をご使用になる場合は、あらかじめリモコンで照明器具が操作できる距離を確認してからご使用ください。

■乾電池の寿命は、マンガン乾電池1日10回使用の場合で約6ヶ月です。

■ニッカド電池などの充電式乾電池は使用できません。

■乾電池は、単3形乾電池をご使用ください。

■乾電池は、+・−の極性を正しく入れてください。

■シンナー、ベンジンなどの揮発性のものやアルカリ系洗剤などを使用して本体を拭かないでください。
外郭強度の低下、変色、故障の原因になります。

器具の取付方法

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行って下さい。

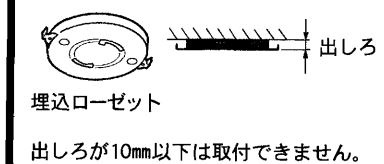
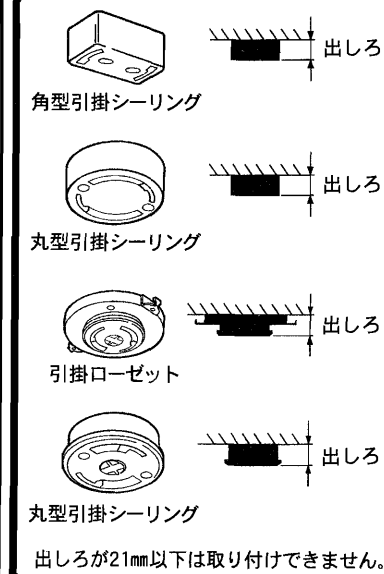
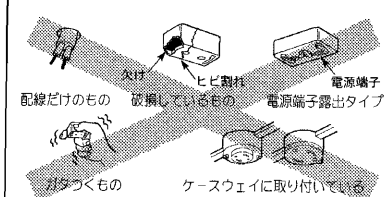
1. 天井の引掛シーリングを確認する

取り付け可能な引掛シーリング

・下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。
（ガタつきや破損がないことを確認して下さい。）

引掛シーリングの形状によって取付方法が異なります。

出しろが21㎜以下は取り付けできません。

出しろが10㎜以下は取付できません。

取り付けできない引掛シーリング

取り付けするする際は、必ず上図の取り付け可能な引掛シーリングに交換して下さい。
交換には電気工事士の資格が必要です。
交換工事は必ず電気工事店に依頼して下さい。

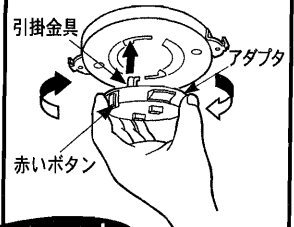
（引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井には取り付けないで下さい。器具が落下する恐れがあります。）

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

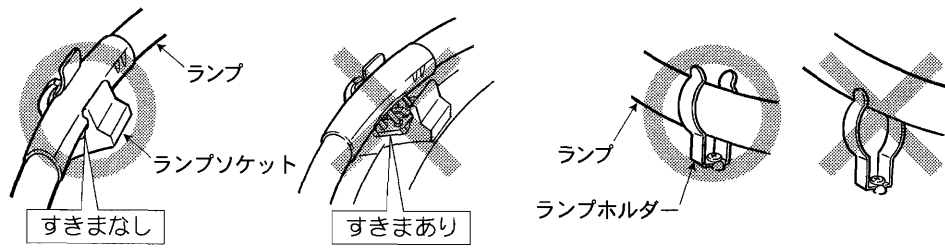
⚠警告

落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

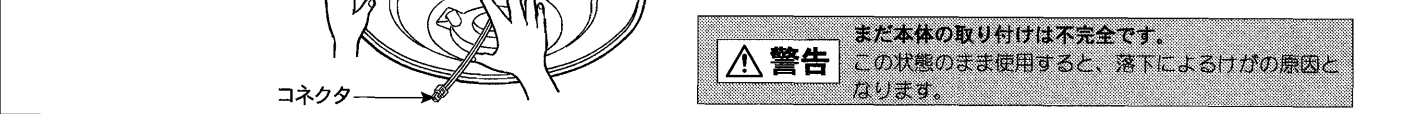
3. 本体を取り付ける

①ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認してください。

②ランプがランプホルダーに確実に取り付けられていることを確認してください。

⚠警告 **落下のおそれあり**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

③１段押上げ（仮固定）

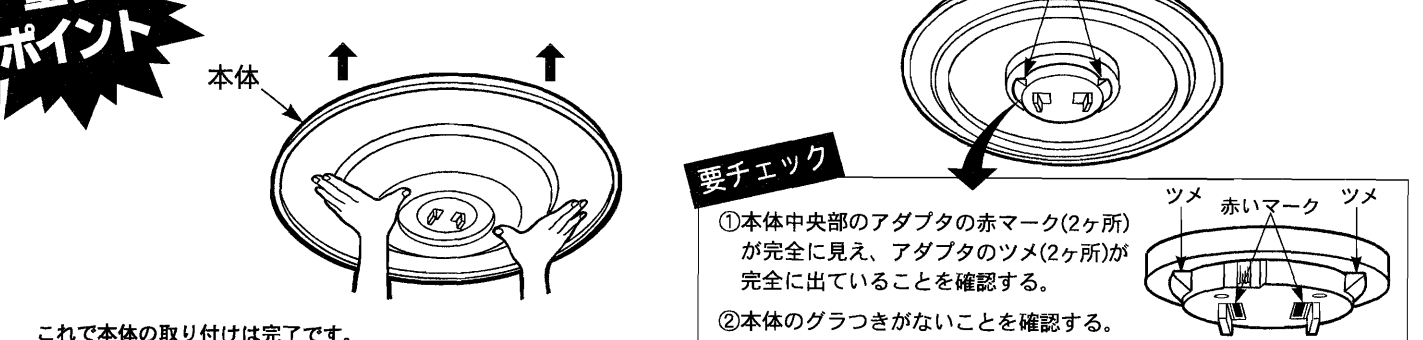
コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

※本体は仮固定の状態ですので、本体はグラついています。

⚠警告 **まだ本体の取り付けは不完全です。**
この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。

重要ポイント

④２段押上げ（取付完了）

さらに強く押し上げる。

本体

要チェック

①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ(2ヶ所)が完全に出ていることを確認する。

②本体のグラつきがないことを確認する。

ツメ　赤いマーク　ツメ

これで本体の取り付けは完了です。

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

⚠警告

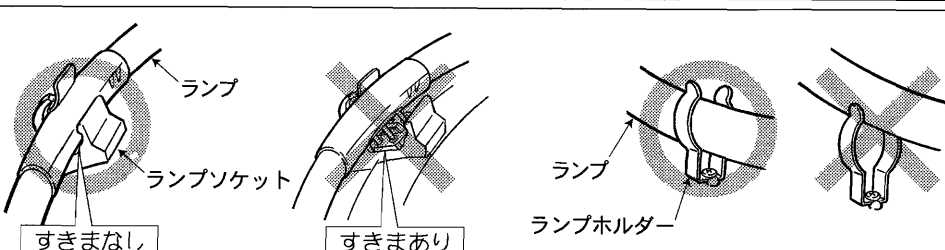
落下のおそれあり

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 本体を取り付ける

①ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認してください。

②ランプがランプホルダーに確実に取り付けられていることを確認してください。

⚠警告 **落下のおそれあり**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

③１段押上げ（取付完了）

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

要チェック

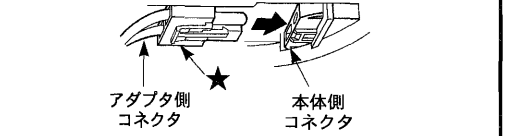
①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えていることを確認する。

②本体のグラつきがないことを確認する。

赤いマーク

これで本体の取り付けは完了です。

4. 電源を接続する

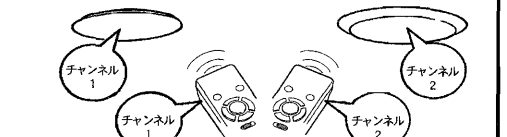
アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込んでください。

★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタを引っ張り抜けないことを確認してください。

5. チャンネルを設定する

■１台のみ操作する場合
器具本体側のチャンネルとリモコン送信器チャンネルを同じチャンネルに合わせてください。
（出荷時のチャンネルは、器具本体側・リモコン送信器共、チャンネル１に設定しています。）

■２台の器具を別々に操作する場合
（１つのリモコン送信器で２台の器具を別々に操作することができます。）
１台目の器具本体側チャンネルを「1」、もう１台の器具本体側のチャンネルを「2」に合わせてください。
リモコン送信器のチャンネルを操作したい方の器具のチャンネルに合わせ、器具を操作してください。

6. カバーを取り付ける

重要ポイント

本体の警告印（⚠）にカバーの警告印（⚠）を合わせカバーを持ち上げパチンと音がするまでカバーを右にまわしてください。

カバー取り付け時に本体が回転してしまう場合は、本体の取り付け(押し上げ)が不十分です。「3. 本体を取り付ける」に従って、本体の取り付け(押し上げ)を確認してください。

⚠警告 **落下のおそれあり**
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。